

# St. Luke's International University Repository

## 米国大学看護学部におけるカリキュラムおよび看護 技術教育

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2007-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 常葉, 恵子, 岩井, 郁子, 小山, 真理子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10285/251">http://hdl.handle.net/10285/251</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



## 米国大学看護学部におけるカリキュラム および看護技術教育

常葉 恵子\*, 岩井 郁子\*, 小山 眞理子\*

### はじめに

本学の校舎新築に向けて、アメリカの看護学士課程における看護技術教育のカリキュラム上の位置づけ、教育内容、方法および関連する施設設備についての情報収集を行なう目的で1991年4月24日～5月6日迄、米国の4つの大学を訪問した。訪問教育機関はイリノイ大学看護学部、ボストンカレッジ看護学部、トーマスジェファーソン大学看護学科、エモリー大学看護学部である。各々の教育機関からわが国の看護教育カリキュラムおよび看護技術教育について多くの示唆を得たので、ここに報告したい。

### イリノイ大学看護学部

University of Illinois at Chicago, College of Nursing

#### 1. 大学の特徴と入学条件

1951年に看護学校として発足したが、1959年には単科の学士課程となり、現在はイリノイ州立の総合大学の看護学部として位置づけられており、学士課程、修士課程、博士課程がある。学士課程は2年間の専門課程であり、2年間の短大を卒業した人やイリノイ大学あるいはその他の大学で一般教育のコースを修了した学生が入学し、その数は毎年140～150人である。看護婦の免許をすでに持ちながら学士号の取得を希望する者には1年間の特別なコースが組まれているので、大学以外で看護教育を受けた人は1年で大学卒業の資格が得られることになる。入学試験はないが入学前の成績と推薦状が審査され、規準に満たした者は入学が許可される。1年2期制(セメスター制)であり、9月期の応募を1月に受付開始し定員になり次第応募を締め切り、その後の応募者には次の学期を勧めるということである。

#### 2. カリキュラムについて

カリキュラムは、人間、環境、健康、看護の概念を枠組みとして作成されている。卒業生の特性には以下のようなものが挙げられている。

- a. 看護のジェネラリストとしての能力を実践する。
- b. クライアントのケアにおいて、専門職としての看護の役割を担う。
- c. ヘルスケアの実践のために、学際的なアプローチを行い、協働的な専門職としての関係に参与する。
- d. リーダーシップや管理の役割の初歩的な技能を実践する。
- e. 個人、家族、グループ、地域の健康の保持・増進のために看護理論や関連する理論を適用する。
- f. 看護実践の科学的な基礎をさらに発展させるような活動に参加する。
- g. 実践やヘルスケアシステムでの研究課題を識別する。
- h. ヘルスケアシステムにおいて、変化がヘルスケアの実践に及ぼす影響を分析する。
- i. 自分自身および看護専門職としての発展に寄与するような活動に参加する。

カリキュラムはレベルが明確にされており、レベルIからIVにむけて基礎的な学習から知識の統合と適用へとより高度の学習を行うように計画されている。レベル目標と各レベル毎の具体的な科目や、単位数は表1に示すとおりである。

#### 3. 看護技術教育の実際

イリノイ大学看護学部での看護技術教育はLevel II. Concepts of Professional Nursing Practiceのコースで行われている。

1) 単 位：9単位

講義：4時間/週×15週間

実習5テーマ×2時間/週×15週間

\* 聖路加看護大学

資料1. イリノイ大学看護学部のカリキュラム

Level I 個人と環境の相互作用のダイナミズムの理解に必要な一般教育を習得する。  
(4期で学習する, 他の大学などで履修してもよい)

	SH		SH
English Composition	6	General Biology	4
Introductory Statistics	3	Natural Sciences	16
Social Sciences	9	Humanities	9
Other LAS Electives	13		
			計 60

Level II ヘルスケアシステムに関連づけて, 専門職としての看護の理論的基礎を理解する。  
(歴史, 理論, 看護の役割)

	SH	
* NUSC 200 Introduction to Professional Nursing	2	→ 1期
* NUSC 300 Clinical Physiology in Nursing Practice	3	
* NUSC 301 Concepts of Professional Nursing Practice	9	
* NUSC 305 Nursing Pharmacology	2	
	計 16	

Level III 看護の知識を臨床実践へ適用, 統合化する。  
(診断能力, 意思定, 評価, コミュニケーション, 変化,)

	SH	
* NUSC 310 Stress, Coping and Adaptation in Health and Illness	3	→ 2期
* NUSC 311 Nursing Care of the Acutely Ill Client	10	
* NUSC 312 Nursing Practice : Educational Aspects	2	
* NUSC 313 Nursing Care of the Family in the Community	10	
* NUSC 314 Nursing Research	2	
* NUSC 315 Nursing Care of the Mentally Ill	5	
	計 32	

Level IV 選択した特定の領域において, ヘルスケアシステムを管理することや変化させることに焦点をおきながら, 知識の統合と適用を行い, その結果を評価する。

	SH	
* NUSC 330 Nursing Management and Leadership in Health Care System	4	→ 1期
* NUSC 317 Long Term Nursing Care	3	
NUMS 322 Selected Focus in Medical-Surgical Nursing	5	
NUPS 322 Selected Focus in Psychiatric Nursing	5	
NUAS 322 Selected Focus in Administrative Studies in Nursing	5	
NUPH 322 Selected Focus in Public Health Nursing	5	
NUMC322 Selected Focus in Maternal-Child Nursing	5	
	計 32	

選択科目

	SH
NUMS 350 History of Nursing	2
NUPS 351 Research Experience in Nursing	2-4
NUPS 352 Conceptual Models for Nursing Assessment of the Family	2
NUMC353 Nursing Dimensions of Human Sexuality	2
NUPH 354 Care of High-Risk Groups in the Community	2
NUPH 355 Nursing Practice and the Human Animal Bond	2
NUMS 356 Nursing Care of the Patient with Pain	2
NUSC 394 Special Topics : Undergraduate	1-4
NUSC 399 Independent Study	1-4

看護専門課程の2年間でLevel II~IVのうちの必須科目および選択科目を計62SH 修得, 卒業に必要な単位122SH  
注: 単位 (1 Semester Hour=1SH) と時間数の関係  
講義/討論: 1時間 (50分)/週×15週 学内ラボ: 2時間/週×15週 実習: 2時間/週×15週

- 2) **前提条件**：このコースは NUSC200 (Introduction to Professional Nursing. 2 単位), および NUSC300 (Clinical Physiology in Nursing Practice 3 単位), NUSC 305 (Nursing Pharmacology 2 単位) を終了後に行われる。
- 3) **特徴**：基礎看護学の学内実習は看護実践に必要な基本的な実習項目を決定し、資料 2 のように、各週毎にスケジュールにそって、グループで学習をすすめている。
- 4) **実習項目**：Bedmaking, Bathing & Hygiene, Infection Control, Vital Signs, Physical Assessment, Body Mechanics & Safety, Medication, Dressing Change, NG Tube, Enema, Catheterization などである。

実習項目の決定は、NLN, ANA の基準や従来行ってきた教育内容などによって決定している。

Physical Assessment は現在、学部で行っている。その理由は看護職に対する社会のニーズや医療費の高騰および D. R. G. によって入院期間の短縮と急性期の患者が多く Physical Assessment は欠くことの出来ない技術となっていること、さらに、病院の卒業後の教育費の節約で十分な教育の機会が得られないこともある。病院の看護はケアの質が問われており、質の高いケアをいかに提供するか病院経営の重要な条件でもあり、就職に際しても看護が実践出来る人が求められている。また、大学院に入学する条件に Physical Assessment をマスターしていることも挙げられる。

#### 5) 教授—学習方法

- (1) 1 グループ、4～5 人でのグループ学習が中心である。
- (2) 週単位のスケジュールで、学習目標を中心に、自分で学ぶ時間を選択し、学習している。
- (3) Teaching Assistant (以下 T. A. と略す) が 4～5 人の学生を担当し、指導。

学習目標にそって、前提学習の課題がある。この課題は文献および Resource Center でのビデオによる自己学習で、前提学習が終了していることを確認し、実習が行われる。もしも、前提学習が終了していない場合には、次週にまわされる。

理論や基礎知識を確認しながら、T. A. がデモンストレーションを行い学生が実施をし、テストを受けるという方法で学習を進めている。

### 資料 2. イリノイ大学看護学部の技術教育の例 NURSING PRACTICE LABORATORY SCHEDULE

#### Week 1 (September 18)

CPR Certification to be checked  
Bedmaking (Group Demonstration)  
Bathing and Hygiene (Group Demonstration)  
Infection Control (Group Demonstration and Individual Written Test)

#### Week 2 (September 25)

Vital Signs- T, P, R (Individual: Demonstration, Homework Assignment, Written Test)  
Physical Assessment- General Survey, Skin, Hair, and Nails (Individual)

#### Week 3 (October 2)

Vital Signs- Blood pressure (Individual: Demonstration and Written Test)  
Physical Assessment- Head, Neck, Nose, Mouth, Throat, Eye, and Ear (Individual)

#### Week 4 (October 9)

Body Mechanics & Safety (Group Demonstration)  
Physical Assessment- Musculoskeletal and Nervous System (Individual)  
Math Test (Individual: Written Test)

#### Week 5 (October 16)

Oral, Topical, Suppository, Inhalant & Instilled Medications (Individual: Demonstration, Homework Assignment, Written Test)  
Physical Assessment- Cardiovascular & Respiratory Assessment (Individual)

#### Week 6 (October 23)

Intramuscular, Intradermal, & Subcutaneous Injections (Individual: Demonstration, Homework Assignment & Written Test)  
Physical Assessment- Abdominal & Breast Assessment (Individual)

#### Week 7 (October 30)

Intravenous Therapy (Individual Demonstration)  
Nasogastric Tubes (Group Demonstration)

#### Week 8 (November 6)

Dressing Changes (Individual Demonstration)  
Cleansing Enema (Group Demonstration)

#### Week 9 (November 13)

Urinary Catheterization (Individual Demonstration)

#### Week 10 (November 20)

Make-ups  
Thanksgiving

**資料3. ポストンカレッジのカリキュラムの構成**

A. コアカリキュラム (必須科目)		
人文科学 (英語または英語のセミナーを含む)	6 単位	
ヨーロッパの歴史	2 単位	
神学 (ヘルスケア倫理を含む)	2 単位	
哲学	2 単位	
自然科学 (解剖学と生理学 I, II)	2 単位	
社会科学 (社会学と心理学)	2 単位	
B. 専門科目 基礎科目+看護専門科目		
(看護専門は2年生から開始)	94 単位	
C. 選択科目 看護学に限らず、大学内の科目から選択		
	12 単位	
	計 122 単位 (卒業単位)	

- ①この T. A. は大学院生で、週 8 時間の契約をしている。(時間給 \$ 4.5 で授業料免除の特典がある。看護の経験がある学生を面接で決定している)
  - ② T. A. は 5 ~ 6 人でチームを編成し、マネージメントをするリーダーがいる。
  - ③コースが終わるまで、同じグループの学生を指導する。
  - ④ T. A. はかなりの責任を持たされている。最終責任は教授がとり、分からないところは教授に相談し指導をしている。教授は時々、巡回する程度である。片付けも学生と共に行う。
- (4) Physical Assessment は教授が指導している。
- 6) 実習室<sup>注</sup> (Simulation Laboratory) の構造
- (1) ベット 20 台
  - (2) 広さ 約 252m<sup>2</sup> 別に Resource center (276m<sup>2</sup>) がある。

**ボストンカレッジ看護学部**  
**Boston College, School of Nursing**

**1. 大学の特徴と入学条件**

設置主体はイエズス会を母体とする私立の総合大学で、看護学部は 1947 年に設立され、学士課程、修士課程および博士課程がある。看護学部は 4 年課程であるが看護専門科目は 6 期 (3 年間) で履修する。入学の

注：大学内の実習室は College Laboratory あるいは Simulation Laboratory と呼ばれている。Laboratory とは実験作業、研究、そして観察が行なわれる場所、状況、あるいは状況設定である。College Laboratory とは、看護学生のために、実際の状況の代りに、人工的な状況の中で、実践が行えるようにシミュレーション教材を備えている大学内の実習室のことである。

審査には Scholarstic Aptitude Test (SAT), Achievement test in English, Mathematics Level 1 などの成績、さらに高校の成績としての Grade Point Average や高校での課外活動・社会活動・運動などが含まれる。入学希望者の 1/3 が入学できるが、入学生の 72% は高校で トップ 10 以内の成績であるので、優秀な学生が多い。看護学部には登録看護婦の免許をもった学生や短期大学からの学生もいるが、高校を卒業直後に入学する学生が多い。

**2. カリキュラムについて**

- 卒業生の特性は以下のようである。
- a. 自分の看護実践の哲学をもつ。
  - b. 教養学科の理論的・実践的知識を統合する。
  - c. あらゆるレベルの予防的介入に看護過程を適用する。
  - d. 人々の健康や福祉の増進に向けて他の領域の人々と協力する。
  - e. 人々の健康上のニーズに応えるための教育的役割を引き受ける。
  - f. ヘルスケアに必要な変化を推進する。
  - g. 看護実践に看護研究の結果を利用する。
  - h. 看護でのリーダーシップの技術を用いる。
  - i. 社会の健康に関連のある社会的および倫理的問題を指摘する。
  - j. 個人としてまた専門職者として成長するための責務をもつ。

カリキュラムの構成は A. 大学生としての教養科目から成る コアカリキュラム B. 専門科目 C. 選択科目により成っている。コアカリキュラムにはこの大学がキリスト教の大学であるという特性から神学やヨーロッパの歴史なども含まれており、卒業に必要な単位は 122 単位である (資料 3)。学年の進行によってカリキュラムがどのように変わるかを示したのが資料 4 である。

資料4. 学年の進行とカリキュラム

単位	一学期	単位	二学期	単位
1年生	Contemporary Chemistry I	4	Contemporary Chemistry I	4
	Anatomy & Physiology I	4	Anatomy & Physiology I	4
	Core	3	Core	3
	Core	3	Core	3
		<u>計 14</u>		<u>計 14</u>
2年生			NU120 Nursing Health Assessment Across the Life Span	4
	Microbiology	3		
NU100	Introduction to Professional Nursing	3	NU121 Nursing Health Assessment Across the Life Span Clinical Laboratory	3
	Core	3		
	Core	3	NU080 Pathophysiology	3
	Elective	3	Core	3
		<u>計 15</u>	Core	3
				<u>計 16</u>
3年生				
NU230	Adult Health Nursing Theory I	3	NU242 Adult Health Nursing Theory II	3
NU231	Adult Health Nursing I Clinical Laboratory	3	NU243 Adult Health Nursing II Clinical Laboratory	3
NU204	Pharmacology and Nutrition Therapies	3	NU244 Childbearing Nursing Theory and the Childbearing Cycle	3
NU216	Methods of Nursing Inquiry	3	NU245 Clinical Laboratory for Application of Childbearing Theory	3
	Elective	3	Elective	3
		<u>計 15</u>		<u>計 15</u>
4年生				
NU250	Child Health Nursing Theory	3	NU260 Community Nursing Theory	3
NU251	Child Health Nursing Clinical Laboratory	3	NU261 Community Nursing Clinical Laboratory	3
NU252	Psychiatric-Mental Health Nursing Theory	3	NU262 Nursing Synthesis Theory	3
NU253	Psychiatric-Mental Health Nursing Clinical Laboratory	3	NU262 Nursing Synthesis Clinical Laboratory	3
	Health Ethics	3	Elective	3
		<u>計 15</u>		<u>計 15</u>

注：看護専門科目の時間数と単位の関係

1 単位 講義：1時間/週×15週 学内ラボ：2時間/週×15週 実習：3時間/週×15週

3. 看護技術教育の実際

ボストンカレッジでは、資料4のNU100の後に、下記の※印の科目で看護技術教育が行われている。

- 1) NU120: Nursing Health Assessment Across the Life Span
- ※2) NU121: Nursing Health Assessment Across the Life Span Clinical Laboratory
- ※3) NU230: Adult Health Nursing Theory I.
- ※4) NU231: Adult Health Nursing Clinical Laboratory (資料5)

- 5) NU242: Adult Health Nursing Theory II
- ※6) NU243: Adult Health Nursing Clinical Laboratory

1) 教授—学習方法

- (1) NU121 では理論を学習した後に学内の実習室でヘルスアセスメントの技術を学びそして地域で実際のクライアントを対象に実践を行う。
- (2) Gordon の11の Functional health patterns をコアにした教授—学習内容 (資料5) である。
- (3) 最初からヘルスアセスメントをカリキュラムに位置づけている理由は下記の通りである。

資料 5 . ポストンカレッジ看護学部コース231の学習内容

BOSTON COLLEGE  
School of Nursing  
Chestnut Hill, MA 02167

COURSE NUMBER: NU231  
COURSE TITLE: Adult Health Nursing Clinical Laboratory  
CREDITS: 3(F)  
PLACEMENT IN CURRICULUM: Sophomore year concurrent with Adult Health Nursing Clinical I  
PREREQUISITES: NU100, NU120, NU121, NU080  
TEACHER OF RECORD: Associate Professor Rita Olivieri and Adult Health Faculty

**Catalog Description :**

This course focuses on fostering skill in the planning and implementation of care for adults with an altered health status. College laboratory sessions focus on documentation, developing skills to facilitate the helping relationship and basic intervention skills associated with care. One two-hour college laboratory and six hours of clinical laboratory weekly.

**Course Objectives :**

At the completion of a six hour per week clinical component in an acute care hospital setting the student will be able to :

1. Apply a personal philosophy of health, illness, and nursing, in interaction with adult clients in the acute care setting.
2. Identify the health beliefs of adult clients in the acute care setting.
3. Apply knowledge of liberal arts/science and nursing science as the basis for clinical judgment (diagnostic, ethical and therapeutic) in caring for adult clients in the acute care setting.
4. Apply the clinical reasoning process, at a beginning level, incorporating scientific principles and research findings, in caring for adult clients in the acute care setting
  - a . assess functional health patterns of individuals and their families
  - b . analyze data, formulate and validate nursing diagnoses
  - c . develop a plan of care, including expected outcomes, goals, and interventions.
  - d . implement the care plan
  - e . evaluate goal achievement
5. Using the clinical reasoning process at a beginning level, identify the nursing implications of related health problems in caring for adult clients in the acute care setting
6. Use communication theories and techniques to collect health data, develop a therapeutic relationship with adult clients, and interact effectively with peers, faculty and health team members in the acute care setting.
7. Evaluate progress toward professional growth

At the completion of a two hour per week simulation laboratory experience the student will be able to :

1. Demonstrate skill in a variety of nursing interventions in a simulation laboratory setting.
2. Apply knowledge of liberal arts/science and nursing science as the basis for therapeutic judgment in the simulation laboratory setting
3. Identify skill level in intervention methods to provide personal growth

**Topical Outline for Acute Care Hospital Setting**

Clinical Component of six hours weekly in the acute care setting will focus on the care of the adult with altered health states, and include the following integrative experiences.

- I . Introduction to the nurses' role in the acute care setting
  - a ) Orientation to the acute hospital setting
  - b ) Observe the nurses' role using primary nursing

- c) Practice written and verbal communication
  - d) Observe the legal and ethical aspects of client illness and treatment and interaction with the nurses' role
  - e) Assess functional health patterns with a focus on role-relationship pattern
  - f) Seminar discussion : Philosophy of acute care nursing
- II. Health Perception-Health Management
- a) Apply the clinical reasoning process with a focus on assessment, diagnosis, and interventions related to safety and protection
  - b) Observe and practice principles of safety that are appropriate to the individual's developmental and physical needs
  - c) Integrate the concepts and practice of universal precautions into nursing care activities
  - d) Seminar discussion : Prevention of nurse and client injuries
- III. Cognitive Perceptual
- a) Apply the clinical reasoning process with a focus on assessment, diagnosis, and interventions for adult clients experiencing pain
  - b) Provide and document nursing care focused on preventing pain and reducing stress.
  - c) Seminar discussion : Cultural differences in pain expression
- IV. Nutrition-Metabolic
- a) Skin
    - 1) Apply the clinical reasoning process with a focus on assessment, diagnosis, and interventions for adult clients with altered skin integrity
    - 2) Provide and document nursing care focused on the maintenance of healthy skin and the treatment of skin wounds
    - 3) Seminar discussion : Research review of treatment methods for decubitus ulcers
  - b) Nutrition
    - 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment, diagnosis, and interventions, related to adult clients with a variety of nutritional needs.
    - 2) Provide and document nursing care focused on nutritional assessment and intake
    - 3) Collaborate with dietary regarding client preferences and interaction with nutrition regimes
    - 4) Seminar discussion : Tube feedings : Selected problems and management
  - c) Perioperative client
    - 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment, diagnosis, and interventions, related to adult clients during the perioperative experience.
    - 2) Provide and document nursing care focused on management of pain, providing skin and wound care, and maintaining nutritional requirements
    - 3) Observe the client and surgical team during the intraoperative experience
    - 4) Seminar discussion : Teaching and learning : The needs of perioperative client
  - d) Fluid Balance
    - 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment, diagnosis, and interventions related to adult clients with an excess or deficit fluid status.
    - 2) Provide and document nursing care focused on management of fluid and electrolyte balance
    - 3) Observe the collaborative role of the primary nurse with the IV therapist's
    - 4) Seminar discussion : Managing IV therapy
- V. Bowel and Urine Elimination
- a) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment, diagnosis, and interventions related to adult clients with altered elimination
  - b) Provide and document nursing care focused on observations and interventions related to elimination
  - c) Observe the client and health care team during the implementation of diagnostic tests.
  - d) Seminar discussion : Coping with an ostomy
- VI. Activity Exercise
- a) Mobility



- 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment, diagnosis, and interventions related to adult clients with mobility problems
  - 2) Provide and document nursing care focused on maintaining mobility and limiting immobility
  - 3) Collaborate with physical therapy regarding exercises and post-op regimes
  - 4) Seminar discussion : Transfers : Preventing injuries of the client and the nurse
- b) Tissue Perfusion
- 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment, diagnosis, and interventions related to adult clients with altered tissue perfusion
  - 2) Provide and document nursing care focused on observations and interventions related peripheral and circulatory alterations
  - 3) Seminar discussion : PVD : Client teaching
- c) Respiratory function
- 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment diagnosis, and interventions related to adult clients with altered respiratory function
  - 2) Provide and document nursing care focused on observations and interventions related to altered respiratory-function
  - 3) Collaborate with the respiratory therapist in the management of client's needs.
  - 4) Seminar discussion : Oxygen therapy : Role of the nurse
- VII. Cognitive-Perceptual
- a) Neural Regulation
- 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment, diagnosis, and interventions related to adult clients with altered neural regulation
  - 2) Provide and document nursing care focused on observations and interventions related to altered neural function
  - 3) Integrative seminar discussion : Care of the client after a CVA : Focus on activity-exercise, elimination, and cognitive perceptual health patterns.
- VIII. Role-relationship
- a) Loss and grieving
- 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment of individual and family response to loss
  - 2) Provide and document nursing care related to teaching and counseling of client and families.
- IX. Value Belief
- a) Spiritual practices
- 1) Apply the clinical reasoning process, with a focus on assessment, diagnosis, and interventions related to adult client's spiritual needs
  - 2) Integrative Seminar discussion : Spiritual well being and relationship to coping with loss

### **Topical Outline for Simulation Laboratory Experiences**

Laboratory component of two hours weekly in the simulation laboratory will focus on basic interventions related to acute nursing care and include the following practice sessions. Competency tests will also be required.

1. Interventions related to safety and comfort
  - a) universal precautions
  - b) positioning
  - c) transfers
  - d) exercise and range of motion
  - e) assistive devices
  - f) body mechanics for the nurse and client
2. Interventions related to skin care
  - a) bed bath simulation
  - b) massage

3. Interventions related to skin/wound care
  - a) medical asepsis
  - b) isolation technique
  - c) surgical asepsis
  - d) setting up a sterile field
  - e) dressing technique
4. Interventions related to Nutrition
  - a) NG and G tubes
  - b) gavage and decompression
  - c) insertion of feeding tubes
  - d) administration of feedings
5. Interventions related to IV therapy
  - a) types of solutions
  - b) methods of administration
  - c) IV therapy devices and equipment
  - d) calculating infusion rate
6. Interventions related to bowel elimination
  - a) colostomy care
  - b) enemas
  - c) specimen collection and testing
7. Interventions related to urinary elimination
  - a) catheterization
  - b) bladder irrigation
  - c) condom
  - d) specimen collection and testing
8. Interventions related to airway clearance
  - a) coughing and deep breathing exercises
  - b) oxygen therapy devices
  - c) airway suctioning technique
9. Interventions related to medications
  - a) rights of medication administration
  - b) simulation of medication administration (PO, SC, IM)
  - c) posology

### **Texts**

- Kozier, B., Erb, G, and Olivieri, R. (1991) *Fundamentals of Nursing : Concepts, Process and Practice*. 4th Edition. Menlo Park, CA : Addison-Wesley Publishing Co.
- Phipps, Long, and Woods (1991) *Medical-Surgical Nursing*. 4th Edition. St. Louis : C. V. Mosby Co.
- McFarland, G. and McFarlane, E. (1989) *Nursing Diagnosis and Interventions*. St. Louis : C. V. Mosby Co.

### **Teaching Methods**

- Lab demonstration
- Audio-visuals (videotapes, interactive video, slide/tapes)
- Clinical conferences

### **Evaluation**

- Written assignments
- Competency testing
- Clinical assignments

理由：①観察やコミュニケーション、インタビューが統合的に看護に応用出来ずに、分離してしまうこと。

②批判的思考も実践領域と分離してしまう傾向があった。

③正常を学んでゆくことが重要であること。

④看護における健康の維持・増進の役割の重要性を強調しなければならないことなどである。

(4)ヘルスアセスメントの技術を学部でマスターさせる理由

①マスターに入学する条件である。②病院の実情・現状は重症な患者が多い。ジェネラリストの育成といっても期待される看護実践レベルは高く、現状に応じた教育が求められていることである。

## 2) 実習室 (College Laboratory) の構造

(1)ベットは6台。

(2)とても明るく、淡いローズ色でコーディネートされている。

(3)実習室の一隅に Intensive care のシミュレーション病室がある。気管切開を受け、持続静脈内点滴注射や種々のカテーテル類が挿入され、またモニターであらゆる不整脈が再現できるシミュレーション患者を教材としている。何故、このレベルまでの教育をするのかは以下の理由による。

①国家試験対策 ②病院の経済問題：コスト削減で、すぐ働ける人を求めている。また患者をマネージ出来る能力を重視している。 ③入院患者の重症化(急性期の患者) ④卒業生はこのような病院に就職する人が多い。

## 3) Kennedy Resource Center

(1)Interactive Computer Video, Video, Computer などハードやソフトの設備が充実している。

(2)Media specialist が1人専任で配属されている。

(3)パートタイムの職員を一人雇用。

(4)Work study student (政府からお金が出る)を2人雇用。

## 4) Resource Center および実習室の管理

教授がコーディネーターとなり、Media specialist をはじめとするスタッフで管理をしている。

## 5) 実習室における教授—学習方法

(1)何を、教授内容として選択し、どのような方法で教育をしているかはコアとなっている11の Functional health patterns の中から身体的な機能障害に関連した看護診断に焦点を当てて技術を選択し、教育を行っている。

(2)そのために必要なシミュレーション教材の充実に関心を注いでいる。

(3)前提として自己学習のための Resource Center の充実を図った。かつては、同じことを8回も行っていった。しかし、自己学習の教材開発によって、効果的な教授—学習方法に改善出来た。

(4)自己学習の分を1単位認定している。

(5)実習室は月曜日～金曜日 7:00～20:00迄開いている。

(6)実習室ではマニュアルにそって、10人の学生を1人の教員が指導し、2人の教員で学内実習担当している。そのスケジュールの概略は以下の通りである。月曜日 9—10時講義 120人, 11時—1時実習, 1時—3時実習, 3時—5時実習。実習は同時間20人の学生が行う。

水曜日 9—11時講義 120人, 11時—1時実習, 1時—3時実習, 3時—5時実習

(7)NU121: Nursing Health Assessment Across the Life Span Clinical Lab. (3Credits) (講義4時間/週, 実習2時間/週×7週間)

学内実習は週1日で、4週間地域に出る。実習はデイケアセンター、学校で行う。地域での実習ではクライアントの承諾が必要で老人を対象としていたが承諾を得る点で問題が多かった。今年から、健康な子供を対象とした。健康な子供から入るのは教育効果も高い。

## トーマスジェファソン大学看護学科

Thomas Jefferson University, College of Allied Health Sciences, Department of Nursing

### 1. 大学の特徴と入学条件

フィラデルフィア市内にあり、1824年にジェファソン医科大学として創立された。看護学科は1972年に設立され、現在は総合大学である。看護学科には学士課程と修士課程があり、学士課程には年間120-145人の学生が入学し、うち25人は登録看護婦の免許を持つ。修士課程には年間40-70人の入学がある。学生は1年と2年は、コミュニティカレッジおよび他のカレッジで修了し、3年と4年の2年間で看護の専門科目を修得する。また、登録看護婦の免許をもつ学生は別コースで1年間(たとえ看護学校の卒業生であっても)学習すると学士をとれる。登録看護婦の免許をもつ学生は2-3年間のパートタイムで学習する場合が多い。

学士課程の目的には①今日の役割および新しく生じる役割にむけて、専門職としての実践家を育てること、

②将来大学院課程に入るための準備をすること、③専門職として、また個人として成長するために援助することなどが含まれている。

看護専門課程への入学条件は解剖生理学 8 単位、自然科学 16 単位 (微生物学 4 単位を含む)、コンピュータサイエンス入門 3 単位、英語 6 単位、社会科学 9 単位 (心理学、社会学を含む)、統計学 3 単位、その他選択科目 (芸術、人文科学、社会科学、自然科学) 12 単位合計 57 単位の科目を既習していることであり、さらには心肺蘇生法 (CPR) の免許をもっていることも入学の重要な条件である。

## 2. カリキュラムについて

概念枠組みとして 1980 年頃からマスローのニード論を使ってきたが、今日ではいろいろな理論を用いて、変えようと試みているということであった。

卒業生の特性は以下のようである。

- a. 物理や行動科学、人文科学、さらに専門職としての看護実践上の意志決定の基礎としての看護学などの理論的、実践的知識を統合する。
- b. さまざまな状況において、生涯にわたってクライアントの健康上のニーズに合わせて看護過程

を適用する。

- c. あらゆる状況において、効果的かつ治療的コミュニケーションを用いる。
- d. 看護実践に適切な技術を、上手にかつ判断して用いる。
- e. 自己、消費者、及び専門職に対して、総合的な看護実践への責務を果たす。
- f. 看護ケアを効果的に変えるために研究結果を利用する。
- g. ヘルスケアの改善にむけて、消費者やヘルス専門家と協調していく中でリーダーシップの技術を用いる。
- h. ヘルスケアの実践を改善するために必要な変化を識別し効果的に変化させる。
- i. 知識の修得や生涯学習を通じて、専門職としての発展に継続的に寄与する。

看護専門課程のカリキュラムは健康を柱として成り立っており、健康の変化により学習が深められていく。具体的なカリキュラムの構成は資料 6 の通りである。

なお、この大学ではコンピュータの看護教育への導入が進んでおり、「看護におけるコンピューター」のコースは必須科目になっている。

### 資料 6. トーマスジェファソン大学看護学科のカリキュラムの構成

		単位
3 年生	秋期 NURS 301 Perspectives in Changing Health I (講義)	6
	NURS 302 Perspectives in Changing Health I (実習)	4
	NURS 307 Perspectives in Professional Nursing	2
	CHEM 304 Biochemistry	3
	MGMT 304 Management and Organizational Theory in Health Care	3
		<u>計 18</u>
	春期 NURS 303 Perspectives in Changing Health II (講義)	6
	NURS 304 Perspectives in Changing Health II (実習)	6
	NURS 308 Introduction to Nursing Research in Clinical Practice	2
	* Advanced Electives	5-6
	<u>計 19-20</u>	
4 年生	秋期 NURS 401 Perspectives in Changing Health III (講義)	6
	NURS 402 Perspectives in Changing Health III (実習)	6
	NURS 309 Computers in Nursing	2
	* Nursing Elective	2
		<u>計 16</u>
	春期 NURS 403 Advanced Perspectives in Changing Health (講義)	5
	NURS 404 Advanced Perspectives in Changing Health (実習)	6
	NURS 407 Seminar in Nursing and Health Care Issues	3
	NURS 409 Applications of Leadership and Management	1
	* Advanced Elective	2-3
	<u>計 17-18</u>	

卒業に必要な単位 129 単位 (1, 2 年生 57 単位 + 3, 4 年生 72 単位)

資料7. トーマスジェファソン大学看護学科コース302の学習内容例

Perspectives in Changing Health I (Nursing I) { 学内実習一毎週×15週間  
病院実習一週1日

*Introduction*

Learning Resource Center

Fall Semester 1990

**I. GENERAL INTRODUCTION :**

Coursework in the nursing laboratory portion of Perspectives in Changing Health I will be presented in self-instructional modules. The overall objective of each module is to develop competency in a specific clinical nursing skill. The sequence and rate of progress will be determined in part by each individual students, who will be an active participant in determining his/her own needs and goals. Nursing faculty members will facilitate learning on an individualized basis through various modes of instruction. Laboratory sessions, both structured and free practice sessions, will be available to give students an opportunity to gain "hands on" experience with clinical techniques.

**II. REQUIRED TEXTS :**

- Bates, B. (1987). A guide to physical examination. Philadelphia : . B. Lippincott.  
Sorenson, K. C. and Luckman, J. (1986). Basic Nursing : A Psychophysiologic Approach. Philadelphia, PA : W. B. Saunders Company.  
Whaley, L. & Wong, D. (1987). Nursing care of infants and children. St. Louis, MO : C. V. Mosby Company.

**III. SEQUENCING OF MODULES IS SUBJECT TO CHANGE**

Week of September 5	Orientation/Fire and Safety Class
Week of September 12	Asepsis & Protection/Vital Signs I
Week of September 19	Vital Signs II, Personal Hygiene I
Week of September 26	Personal Hygiene II/History Taking
Week of October 3	Body Alignment
Week of October 10	Relaxation: General & Childbirth
Week of October 15	Practica
Week of October 24	Cardiovascular/Peripheral Vascular
Week of October 31	Respiratory
Week of November 7	Reproduction
Week of November 14	Calculations/Injections
Week of November 21	Thanksgiving
Week of November 29	Calculations/Injections
Week of December 5	Oral & Topical/Calculations
Week of December 12	Musculoskeletal/Range of Motion
Week of Final Exams	Practica

資料 8 . トーマスジェファーソン大学看護学科コース304の学習内容例

Perspectives in Changing Health II (Nursing II) { 学内実習一週×15週間  
病院実習一週 2 日

*Introduction*

Learning Resource Center  
Spring Semester 1991

**I . General Information**

Course work in the nursing laboratory portion of Perspectives in Changing Health II will be presented in self-instruction modules. The overall objective of each module is to develop competency in a specific clinical nursing skills. The sequence and rate of progress will be determined in part by each individual student, who will be an active participant in determining his/her own needs and goals. Nursing faculty members will facilitate learning on an individualized basis through various modes of instruction. laboratory sessions, both structured and free practice sessions, will be available to give students an opportunity to gain "hand on" experience with clinical techniques.

**II. REQUIRED TEXTS**

- Bates, B. (1987). A guide to physical examination. Philadelphia, PA : J. B. Lippincott.  
Luckmann, J. & Sorenson, K. C. (1987). Medical-Surgical Nursing. Philadelphia : PA W. B. Saunders Co.  
Sorenson, K. C. and Luckmann, J. (1986). Basic Nursing ; A psychophysiologic approach. Philadelphia, PA : W. B. Saunders, Co.

**III. MODULES**

Week 1-3	Intravenous Therapy and Calculations
Week 4-5	Dressing
Week 6	Coughing, Deep Breathing, Postural Drainage
Week 7	Practica
Week 8	Spring Break
Week 9	Positioning
Week 10	Cast Care Mobility Devices/Traction
Week 11	P. A.: Head & Neck
Week 12	P. A.: Abdomen
Week 13	Nasogastric Tubes
Week 14	Ostomy/Enemas
Week 15	Urinary Catheterization
Final Exam	Practica

資料 9 . トーマスジェファソン大学看護学科コース402の学習内容例

Advanced Perspectives in Changing Health III (Nursing III) { 学内実習—9 週間  
病院実習—2 日間

*Introduction*

Learning Resource Center  
Spring Semester, 1990

**I . GENERAL INTRODUCTION :**

Coursework in the nursing laboratory portion of Advanced Perspectives in Changing Health III will be presented in self-instructional modules. The overall objective of each module is to develop competency in a specific clinical nursing skill. The sequence and rate of progress will be determined in part by each individual student, who will be an active participant in determining his/her own needs and goals. Nursing faculty members will facilitate learning on an individualized basis through various modes of instruction. Laboratory sessions, both structured and free practice sessions, will be available to give students an opportunity to gain "hands on" experience with clinical techniques.

**II. REQUIRED TEXTS :**

Sorensen, K. C., and Luckmann, J. (1986). Basic Nursing : A Psychophysiologic Approach. Philadelphia, PA : W. B. Saunders, Co.

Luckmann, J. and Sorensen, K. C. (1987). Medical-Surgical Nursing. Philadelphia, PA : W. B Saunders Co.

Whaley, L. & Wong, D. (1987). Nursing care of infants and children. St. Louis : C. V. Mosby Company.

**III. MODULES**

Order of Senior Labs	
Week of September 5-	Introduction
Week of September 12-	Tracheostomy Care and Suctioning/Oxygen Therapy Group I
Week of September 19-	Tracheostomy Care and Suctioning/Oxygen Therapy Group II
Week of September 26	Vascular Access Group I
Week of October 3-	Vascular Access Group II
Week of October 10-	Complex Meds (Group A)
Week of October 17-	Complex Meds (Group B)
Week of October 24-	NONE
Week of October 31-	Complex Meds (Group C)
Week of November 7-	Cardiac Monitoring (All Groups)
Week of November 14-	Nurological Assessment/Halo Care (All Groups)
Week of November 21-	THANKSGIVING
Week of November 28-	Chest Drainage (All Groups)
Week of December 5-	CAPD
Week of December 12-	Practica

### 3. 看護技術教育の実際

トーマスジェファーソン大学看護学科では1983年にカレッジラボラトリーを開設した。

それまではグループ毎にデモンストレーションをして、学生に実施させるという方法をとっていたが、学習効果はあまりなかった。

さらに、看護婦や看護助手として働いていた経験をもつ学生が入学し、学生の背景の違いに応じた教育が必要となった。

#### 1) 実習室における教授—学習内容

主に下記のコースで技術教育を行っている。

##### (1) Nursing I. (資料7)

NURS301⇒NURS302 Perspectives in Changing Health I—clinical (4単位) (学内実習毎週、臨床実習1日6時間)

##### (2) Nursing II. (資料8)

NURS303⇒NURS304 Perspectives in Changing Health II—clinical (6単位) (学内実習毎週、臨床実習2日間(1日6時間))

##### (3) Nursing III. (資料9)

NURS401⇒NURS402 Perspectives in Changing Health III—clinical (6単位) (学内実習隔週、臨床実習2日間(1日6時間))

##### (4) Nursing IV.

NURS403⇒NURS404 Perspectives in Changing Health—clinical (6単位) 学内実習は2項目。臨床実習2日間(1日8時間)

#### 2) 現在37~40のモジュールがある。

かつては、自己学習のために使わせることに批判があった。現在は教員と共に活用し、効果をあげている。

#### 3) 実習内容の選択と決定

カリキュラム委員会で決定している。例えば、Nursing IはHealth promotion。そのための技術として何が必要かを話し合い、決定している。

#### 4) 学内実習での教授—学習方法

(1)自己学習を強化し、実習室は何時でも使えるようにしている。日曜日8時~20時迄使用できる。月~金曜日は8時~23時。土曜は午前のみとなっている。

(2)自己学習のためのResource Centerの充実

Interactive Computer Video. Video, Computerなども完備している。

(3)具体的な方法

4冊(NURS302, NURS304, NURS402, NURS404)のLaboratory modulesがある。それぞれのコースはこのLaboratory modulesにそって学習をすすめている。

①100人の学生

②1セッションは週1回、60~90分

③専属のパートタイムの教員が2人(水、木、金)で担当している。

火曜日9~10時30分, 11時~, 13時~, 15時~  
1人の教員が4回=40人/日というようなスケジュールで実施している。1人の教員は10人の学生を指導。ある教員は同じことを一日4回行うことになる。

④学生の背景によって(RNなど)ニードやゴールが異なり、個人に応じた進め方をする。

⑤各コースは講義週1時間、学内実習は週3時間。

(実習の分1.5時間, 60~90分。セルフラーニングの分として1時間, あるいは1.5時間分を認定)

3年生:NURS302⇒14テーマ×15週間

NURS304⇒14テーマ×15週間

4年生:NURS402⇒9テーマ×9週間, シミュレーション(人形)でオーダーを読んで, 1時間内にオーダーを実施するという実習を行う。

NURS404⇒2Lab.人工呼吸器やマネキン人形で心停止への対処なども実習している。

技術教育の基本は単純から複雑へ、個からコミュニティへ、最後、複雑な、問題の多い状況へ(重症)と計画されている。

⑦実習室では、学生は実際に実践することであり、教師はこの援助を行うのが役割である。

Psychomotor skillは自分で行って見て、気づき学んでゆくものであり、どのようにするのかをみせるといったやり方は古い。

#### 5) 実習室の広さ・構造

(1)特徴: 1つの階に3つの実習室をもっている。

#1. 広さ約110m<sup>2</sup>, 現在ベッドは10台。この夏の改装でベッドを5台にする。

#2. 広さ約36m<sup>2</sup>, ベッドは1台

#3. 広さ約24m<sup>2</sup>, ベッドは1台(ビデオ撮影のために壁はブルー。)

(2)実際に酸素は出ないが、中央配管の設備もある。

(3)クリティカルケア(人工呼吸器、除細動)のための設備もある。

(4)実習室とResource Centerが併設されている。

#### 6) 実習室の管理

教授が管理者として実習室のある階に研究室をもち、専任で管理を行っている。管理者の役割は下記の通りである。

(1)予算獲得, 基金申請

(2)実習室の運営(誰でも使用できるように)



- (3)スタッフ、アルバイト学生のマネージメント
- (4)他のメンバーとの調整（コースコーディネーターがいる。）
- (5)看護の会議に出席

他に専属のスタッフが1人、また学生アルバイトを雇用し、準備や片づけも責任をもって行っている。夜間や日曜の実習室の使用も学生アルバイトを雇用することによって運営している。

## エモリー大学看護学部

Nell Hodgson Woodruff School of Nursing,  
Emory University

### 1. 大学の特徴と入学条件

ジョージア州のアトランタの郊外にあり、車での移動を与儀なくされるほど広いキャンパスをもつエモリー大学の設置主体はメソジスト教会であり、大学自体は1836年に設立された。看護学部の前身は1905年に Wesley Memorial Hospital の看護婦養成に建てられた付属看護学校である。1922年に看護学校はエモリー大学のキャンパスへ移動し、1944年に看護学部学士課程が開設された。

プログラムには学士課程と修士課程がある。学士課程は2年間の専門課程であり、短期大学卒業生や他の大学で一般教育を修めた者が入学する。しかし、看護学校の卒業生も入学可能であり、看護学校卒業の入学生には RN-BSN コースという個別的なコースが組み込まれている。この大学は看護実践を非常に重視しており、看護学校の卒業生であっても看護実践をしっかり修得してきている入学生は入学時に学士課程または修士課程 (RN-MN コース) のいずれかを選択できる。言い換えると、学士課程の卒業生でなくても修士課程に入学できるということである。入学生の選択によるが、

1991年春期に入学した看護学校の卒業生43名のうち、38名がRN-MN コースを履修していることから分かるように、修士課程を選択するほうが多いのである。学士課程の学生数は1学年45~70名でありパートタイムの学生も数名いる。修士課程には1991年春期には196名が在籍しており、うち137名はパートタイムの学生である。それに対して教員数は1991年現在専任教員42名、非常勤13名、休職中またはサバティカルをとっている教員6名、計61名であった。

入学条件としては先行学習条件（資料10参照）としての一般教養科目を修了していること、高校での成績の Grade Point Average が2.5以上 (A=4.0) であること、一般教養科目の成績がC以上であること、心肺蘇生術の免許をもっていることなどがある。

### 2. カリキュラムについて

エモリー大学看護学部の理念は以下のように明記されている。

専門職としての看護婦は；

- ・個人、家族、グループ、コミュニティに対して、健康増進、保持、再構築できるように援助する。
- ・最良の健康ケアという目標に向けて他のヘルス専門職者と協調する。
- ・クライアントの最良の健康の保持に必要な能力や資源を助長し、支持、教育、さらに開発する。
- ・クライアントの提唱者としての役割を持ち、ヘルスケアサービスの質の向上およびサービスを受け易いようにするために、政策過程 (political process) を用いる。

卒業生の特性には以下が含まれる。

- (1) 看護学、人文科学、行動科学、生物物理科学から得た理論的、実践的知識に基づく看護の枠組みを利用する。
- (2)あらゆる年齢のクライアントの、さまざまな健康状態において、クライアントが最高の機能を増進、保持、回復させるような看護実践の枠組みとして、看

#### 資料10. エモリー大学看護学部看護専門課程入学の先行学習条件

人文科学		生物科学	
英作文	1 科目	化学	1 科目
選択	3 科目	有機化学	1 科目
社会科学		解剖生理学	2 科目
心理学入門	1 科目	微生物学	1 科目
社会学入門	1 科目		
人間の成長発達	1 科目	選択科目 (人文化学と社会化学を推選)	
		2 ~ 4 科目	
歴史、経済学、政治学	1 科目		
数学 統計学	1 科目		
		(計60単位)	

### 資料11. エモリー大学看護学部カリキュラムの構成

		単位
<u>3年 秋期</u>		
N302	Nurtrition and Metabolism	6
N306	Nursing I	6
N310a	Professional Seminar	1
N316	Cultural Influences on Health and Health Care	3
N318	Simmlations in Nursing I	2
<u>3年 春期</u>		
N304	Pharmacology	3
N307	Nursing II	6
N310b	Professional Seminar II	1
N315	Pathophysiology	3
N320	Health Assessment	3
<u>4年 秋期</u>		
N404	Nursing III	6
N421	Introduction to Nursing Research	3
N422	Nursing History, Trends, and Issues	3
N423	Nursing leadership and Management	2
N··	選択科目	(2)
<u>4年 春期</u>		
N405	Nursing IV (前半期)	4
N406	Simulation in Nursing II (前半期)	1
N425	Power, Polities, and policy	3
N440	Role Practicum (後半期)	5
N··	選択科目	(2)
		計 60

護過程を用いる。

- (3)クライアントの文化に適合する看護を実践する。
- (4)言語的にもまた記録においても効率的にコミュニケーションをとる。
- (5)さまざまな状況においてヘルスサービスを計画、提供、評価するとき他と協調する。
- (6)ケアを計画、提供、調整し、評価するときリーダーシップを発揮する。
- (7)クライアントの健康と福祉にとって必要な時はヘルスケアシステムの計画的な変化を推進する。
- (8)看護および関連領域の研究の知的な利用者になる。
- (9)自らの看護実践の効率性を高め、自らの学習ニーズに応えるための責任と責務をもつ。
- (10)政策過程を通してヘルスサービスの改善に務める。
- (11)人間の価値に関連する問題に適切な反応をするために、法的、倫理的、道徳の原則を適用する。
- (12)専門職としての看護婦の役割と矛盾しない行動をとり、ANAの倫理規定を守る。

以上のような特性を持つ卒業生を育成するために、カリキュラムの構成は資料11のようになっている。

### 3. 看護技術教育の実際

エモリー大学では、下記の科目で技術教育が行なわれている。

N318: Simulation in Nursing I 1単位、(講義1時間/週、実習2時間/週×14週間)

N320: Helth Assessment: 3 S. H. (講義2時間/週、実習3時間/週×14週間) (資料12)

N406: Simulation in Nursing II: 1 S. H. (講義1時間/週、実習2時間/週×7週間)

#### 1) 教授—学習方法

- (1)自己学習の強化とそのための設備・教材の充実およびResource Centerの充実を図っている。(Interactive Computer Video. Video, Computer など。)
- (2)シミュレーションモデル(眼底をみることの出来る人形など)を活用した教育方法。
- (3)学生の背景に応じた教育 看護助手の経験のある学生に対しては、技術などをチェックして単位を認定している。

#### 2) 実習室の構造・広さ

- (1)広さ: 約125m<sup>2</sup>, (2)ベット数13台。

資料12. エモリー大学看護学部実習室での学習内容例

Undergraduate Course Overview

Level one

**COURSE NUMBER :** N318

**COURSE TITLE :** SIMULATION IN NURSING I

**COURSE CREDIT HOURS :** 2 semester hours

**CLOCK HOURS :** Class 2 hour  
Lab 2 hours

**PLACEMENT IN CURRICULUM :** Fall Semester Junior Year

**FACULTY :**

June Edwards, RN, BSN Darla Ura, RN, MN

**COURSE DESCRIPTION :**

This course is first in a two course sequence designed to introduce students to the technical skills required for professional nursing practice. It contains content on those processes and procedures considered basic to providing direct care to clients of all ages. Psychomotor skills are studied and performed in both classroom and laboratory settings through the use of stimulated and actual opportunities to practice. The laboratory is also used to provide students with the opportunity to practice selected communication skills introduced in N306 Nursing I.

**COURSE OBJECTIVES :**

1. Apply principles of physical and behavioral science when caring for clients through the life span.
2. Apply principles of communication to selected client situations.
3. Accept the roles and responsibilities of a professional nursing student.

**TOPICAL OUTLINE :**

Medical Asepsis and Safety  
Client's Environment and Personal Hygiene  
Infection Control  
Physiologic Assessment of Vital Signs  
Fetal Monitoring  
Providing Care to Clients with Problems of Immobility  
Meeting Client's Elimination Needs  
Communication : Verbal  
Communication : Written  
Surgical Asepsis in the Health Care Setting  
Nursing Care of Clients with Wounds  
Drug Dosage Calculations  
Administration of Medications  
Intravenous Management

**TEACHING STRATEGIES :**

Lecture discussion  
Demonstration  
CAI  
Audio visual  
Self paced learning modules  
Assigned readings

**EVALUATION METHODS :**

Written exams  
Med math quizzes  
Validation of selected psychomotor skills

**COURSE NUMBER :** N320

**COURSE TITLE :** Health Assessment

**COURSE CREDIT HOURS :** 3 Semester hours credit

**CLOCK HOURS :** Class 2 hours  
Lab 3 hours

**PLACEMENT IN CURRICULUM :** Spring Semester Junior Year

**FACULTY :**

Marcia McDonnell, RN, MN, FNP

**COURSE DESCRIPTION :**

Health Assessment is designed to provide beginning level knowledge and psychomotor skills necessary for assessing the health status of clients. Students use the nursing process framework to elicit health histories and perform physical examinations in a systematic manner to determine areas in which health promotion activities should be implemented or reinforced. Students are introduced to a broad range of normal variations through supervised practice with peers in the laboratory setting. Further application will occur within concurrent and subsequent clinical nursing courses.

**COURSE OBJECTIVES :**

1. Understand the process of obtaining a complete health history for well clients.
2. Use principles and techniques of physical examination for health assessment of well clients.
3. Demonstrate the relationship of the health history and the physical examination.
4. Demonstrate the relationship of subjective, objective, assessment, and planning components of Health Assessment.

**TOPICAL OUTLINE :**

Course Overview	Thorax and Lungs
Health History	Cardiac
Review of Systems	Peripheral Vascular and Lymph
Physical Exam Techniques	Breast and Abdomen
General Survey and Skin	Musculoskeletal and Neurological
Head and Neck	Genitourinary/Sexual History
Eye and Ear	Integrated Physical Exam

**TEACHING STRATEGIES :**

Lecture discussion  
Demonstration  
Audio visual  
Lab. Practice

**EVALUATION METHODS :**

Written quizzes  
Lab practicum

### 3) 実習室の管理

- (1) 技術教育の中心となる教授は実習室内に研究室をもっている。
- (2) T. A. として修士課程の学生(アルバイト)を一人雇用し、準備や整備を依頼している。

### おわりに

アメリカの4つの看護大学のカリキュラムおよび看護技術教育に焦点をあて、視察した。

学部での教育は看護専門職としての実践者を育成することに焦点が当てられ、ヘルスケアという広い概念のなかでの専門職者の育成および将来の看護の発展のために多様な能力の育成にも重点がおかれている。

看護教育は社会のニーズによっても大きく影響され、特にアメリカの医療問題や経済問題、特に病院の経営難は看護教育にも大きな影響をおよぼしている。

特に、D. R. G. による在院日数の短縮は、入院患者の重症化や急性期の患者の増加をもたらし、このことから看護の実践能力を要求されている。また、卒業後の各病院での教育はコスト削減のために、不十分となり、基礎教育での教育が期待されている。

このような背景から、理論教育も充分になされているが、学内での実習および臨床実習にも比重を置いた教育が行われていた。

特に、学生がすでに学習した知識・理論を実践してゆくかが重視され、実際の体験を通して、これらの過程を学習することを重視する教育が行なわれていた。順序性をもって、学内で学習した後には必ず臨床に出て、クライアントに実践するという教育が行われている。しかもこれらの教育は小グループで最も効果的で、効率的な教育方法が探究されていた。

自己学習能力の育成および自己学習のための Resource Center の充実と活用およびその管理は技術教育に欠くことの出来ない条件でもあった。

日本における技術教育は訓練型の教育が重視され、看護手順を中心に教育をしている傾向がある。トーマスジェファーソン大学看護学科で看護技術のテストを見学する機会を得たが、自由な教育的な雰囲気の中で、「そのこと、なぜ」に焦点を当てた教育がなされていた。

今後、大学の再建築に際して取り組むべき課題をまとめると次のようなことが挙げられる。

1. 21世紀を展望し、看護の役割、特に大学教育に何が期待されるかを明らかにする必要がある。どのような能力をもった卒業生を育成すべきなのかを明らかにすることがカリキュラム改正の前提条件である。
2. カリキュラム構造の中で、内容のみでなく、全体の関連性、継続性や相関・統合が理論と実践とのつ

ながりのなかで、どのように展開されるのかも大きな課題となる。

3. 教育方法の改善・刷新が重要な課題である。特に、現在のような一斉のマスを対象とした技術教育の改革である。しかも理論・知識を実践にいかに転換してゆくか、理論の検証など研究的な能力の育成をも考慮した大学教育が重視されるべきである。また、教育方法に関する研究が必要である。
4. 実習室の構造・設備はカリキュラムとの関連の中で、何を、重要な要素として選択し、どのような方法で教育をするかを明らかにした上で検討する必要がある。
5. これからの大学教育のためには Resource Center の充実と活用は必須の条件となる。